

京都府公立大学法人の平成28年度
業務実績に関する評価結果

平成29年9月

京都府公立大学法人評価委員会

目 次

第1	評価の基本方針	1
1	評価の趣旨	1
2	評価の方針	1
3	評価の方法	1
第2	全体評価	2
第3	項目別評価	4
1	教育研究等の質の向上に関する事項	4
(1)	教育等に関する目標	4
(2)	研究に関する目標	5
(3)	地域貢献に関する目標	5
(4)	医科大学附属病院及び北部医療センターに関する目標	6
2	業務運営の改善等に関する事項	6
3	財務内容の改善に関する事項	7
4	教育研究及び組織運営の状況の自己点検・評価 並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	7
5	その他運営に関する重要事項	8

第1 評価の基本方針

1 評価の趣旨

京都府公立大学法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条第1項の規定により、京都府公立大学法人（以下「法人」という。）の平成28年度の業務の実績について、次の方針に基づき評価を行った。

2 評価の方針

- ア 大学の教育研究の特性に配慮しつつ、法人の継続的な質向上に資する。
- イ 中期計画に定めた項目ごとの各年度における具体的な実施状況について調査・分析し、業務の全体について評価を行うことにより、業務運営の改善・充実に資する。
- ウ 評価を通じて、法人の業務運営状況を明らかにし、府民に分かりやすく示す。

3 評価の方法

- ア 評価は、法人による自己評価を聴取した上で行った。
- イ 評価は、全体評価及び項目別評価により行った。

(ア) 全体評価

全体評価は、項目別評価の結果を踏まえ、法人の業務の実績全体について評価を行った。

(イ) 項目別評価

項目別評価は、年度計画の小項目及び大項目ごとに行った。

年度計画の小項目ごとの評価は、次のⅣ～Ⅰの4段階により行った。

- | |
|--------------------|
| Ⅳ 年度計画を上回って実施している |
| Ⅲ 年度計画を十分に実施している |
| Ⅱ 年度計画を十分には実施していない |
| Ⅰ 年度計画を実施していない |

年度計画の大項目ごとの評価は、次のS～Dの5段階により行った。

- | |
|-------------------------------|
| S 特筆すべき進捗状況にある(評価委員会が特に認める場合) |
| A 順調に進んでいる(すべてⅣ又はⅢ) |
| B 概ね順調に進んでいる(Ⅳ又はⅢの割合が9割以上) |
| C やや遅れている(Ⅳ又はⅢの割合が9割未満) |
| D 重大な改善事項がある(評価委員会が特に認める場合) |

第2 全体評価

法人は、京都府立医科大学（以下「医科大学」という。）及び京都府立大学（以下「府立大学」という。）を設置及び管理し、府民に開かれた大学として透明性の高い運営を行うとともに、京都府の「知の拠点」として、質の高い教育研究の実施を通して、幅広い教養、高い専門能力及び倫理観を持った人材を育成し、また、世界トップレベルの医療の提供や教育研究の成果を府民や地域に還元することにより、府民生活の向上、地域社会や国内外の発展に貢献することを目的としている。

法人は、この目的の具現化を図るため、平成20年度の法人化以降、6年間ごとに中期計画を作成し、総合的で専門性の高い教育研究の実施と優れた人材の育成、産学公連携等による地域貢献、高度で安全・安心な医療の提供や、効果的・効率的な業務運営等に取り組んできたところである。

平成26年度から平成31年度までの6年間は、第二期中期目標期間であることから、法人では目標の達成に向けた第二期中期計画を平成26年3月に作成の上、毎年度、年度計画を作成し取り組んでいるところであり、今回、その3年目の年度に当たる平成28年度計画の業務実績について評価を行った。

その結果、年度計画全140項目中135項目が「年度計画を上回って実施している」（評価Ⅳ）又は「年度計画を十分に実施している」（評価Ⅲ）となり、その割合は全体の96.4%であった。このため、中期計画の達成に向けて、法人全体として「概ね順調にすすんでいる（Ⅳ又はⅢの割合が9割以上）」と評価する。

具体的には、医科大学において、府内保健所等の行政機関に加えて医師不足が特に深刻な府北部地域の医療機関への医師派遣を継続的に実施していることや、府立大学において、和食文化学科（仮称）の開設を控えて和食文化学会（仮称）設立を目指していること、産学公連携のもと共同研究・受託研究等が大幅に増加していることなど、着実に進捗している項目が多く見られた。

一方で、医科大学において、医師国家試験の合格率が低下したことや、医科大学学生の府内就職率の目標や障害者の法定雇用率が達成できていないことなど、「年度計画を十分には実施していない」（評価Ⅱ）と認められるものがあつた。

また、医科大学附属病院における虚偽有印公文書作成・同行使容疑で家宅捜索を受けるといふ事案や、医科大学看護学科における一般選抜入試の追加合格者決定に係る事務手続きにミスがあつたことについて、公表及び文部科学省への報告を行つていながつた事案が発生しており、今後、適正な大学運営が行われるよう取組の充実・強化を求めらる。

法人においては、今年度が第二期中期計画の4年目の年度となるため、今回明らかとなつた課題を十分点検するとともに、必要な改善を施すことにより、中期計画の適正かつ確実な実施に向けて、理事長のリーダーシップと信念のもと、副理事長である両大学の学長とともに一法人二大学の特長を發揮し、より一層積極的に取り組むことを求める。

平成28年度計画「大項目」評価結果】

大項目 \ 評価	S	A	B	C	D
	特筆すべき進捗状況(達成状況)にある	順調に進んでいる(良好な達成状況にある)	概ね順調に進んでいる(概ね良好な達成状況にある)	やや遅れている(不十分な達成状況にある)	重大な改善事項がある
教育研究等の質の向上に関する事項			○ (○)		
業務運営の改善等に関する事項		(○)	○		
財務内容の改善に関する事項		○ (○)			
教育研究及び組織運営の状況の自己点検・評価並びに当該情報に係る情報の提供に関する事項		○ (○)			
その他運営に関する重要事項			○ (○)		

注) () 書は平成27年度の評価結果

第3 項目別評価

1 教育研究等の質の向上に関する事項

- 「第2 教育研究等の質の向上に関する事項」については、教育研究の特性に配慮し、事業の外形的・客観的な進捗状況についての評価を行った。本項目に係る平成28年度計画については、項目数が多く、内容も幅広いため、細分化し、評価結果を取りまとめた。

◆「教育研究等の質の向上に関する事項」の全体評価

- 平成28年度計画については、「小項目評価」において、107項目中5項目が「Ⅳ」（年度計画を上回って実施している）、99項目が「Ⅲ」（年度計画を十分に実施している）の評価結果となり、その割合が9割以上（97.2%）となっているため、「大項目評価」としては、「B」評価であり、平成28年度計画が概ね順調に進んでいると認められる。

大項目評価		B		概ね順調に進んでいる。		
小項目評価	評価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	5	99	3	0	107
	構成比(%)	(4.7)	(92.5)	(2.8)	(0.0)	(100.0)

(1) 教育等に関する目標

小項目評価	評価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	1	48	1	0	50
	構成比(%)	(2.0)	(96.0)	(2.0)	(0.0)	(100.0)

(評価できる項目)

- 府立大学の和食文化の学科開設に向けて、和食文化の大学コンソーシアム準備会の立ち上げや、研究者の交流促進のためのキックオフシンポジウムの開催、さらに和食文化学会（仮称）の立ち上げを目指すなど、多くの取組を進めている。
- 平成29年度からの教養教育共同化の授業時間拡大及び共同化科目拡充に向けて、カリキュラムの編成を行うなど、教養教育共同化の取組を更に充実させている。

(課題となる項目)

- 医師国家試験合格率が昨年度実績を下回るとともに、全国平均を下回っており、医師国家試験合格に向けた学生の支援に取り組む必要がある。

(2) 研究に関する目標

小項目評価	評価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	1	24	0	0	25
	構成比(%)	(4.0)	(96.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

(評価できる項目)

- 府立大学では、和食文化の学科開設に向けて、和食文化の大学コンソーシアム準備会の立ち上げや、研究者の交流促進のためのキックオフシンポジウムの開催、さらに和食文化学会（仮称）の立ち上げを目指すなど、多くの取組を進めている。
- 医科大学では、大学院医学研究科博士課程に新規科目「スポーツ・障がい者スポーツ医学」を新設するとともに医学科に「スポーツ・障がい者スポーツ医学教室」を設置し、スポーツ及び障がい者スポーツ医学に関する研究や人材育成に向けた取組を行っている。

(3) 地域貢献に関する目標

小項目評価	評価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	3	14	0	0	17
	構成比(%)	(17.6)	(82.4)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

(評価できる項目)

- 府立大学では、学内シーズ集を新たに作成するとともに、コーディネーターを中心にマッチングフェアへの出展や企業相談・訪問を積極的に行うことにより、共同研究・受託研究等が大幅に増加するなど、産学公連携の促進の取組を進めている。
- 医科大学では、行政従事医師として、府庁及び府内保健所等の行政機関への医師の派遣に加えて、医師不足が特に深刻な府北部地域の医療機関へ継続的に医師を派遣するとともに、地域の実情に応じた人材育成の取組を進めるなど、地域医療を支える拠点としての地域貢献の取組を進めている。

(4) 医科大学附属病院及び附属北部医療センターに関する目標

小項目評価	評 価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	0	13	2	0	15
	構成比(%)	(0.0)	(86.7)	(13.3)	(0.0)	(100.0)

(評価できる項目)

- 患者紹介率及び逆紹介率が、附属病院ではそれぞれ 86.1%（計画：55.5%以上）、67.5%（計画：45.5%以上）となり、計画の数値目標を大きく上回って達成するとともに、北部医療センターでは、それぞれ 52.3%（計画：53%以上）、109.1%（計画：100%以上）と概ね計画の数値目標を達成している。
- 入院及び外来の患者満足度が、前年度の実績を上回るとともに、附属病院ではそれぞれ 87.0%（計画 90%以上）、81.6%（計画 80%以上）となり、概ね計画の数値目標を達成するとともに、北部医療センターでは、それぞれ 92.2%（計画：90%以上）、82.6%（計画：80%以上）と数値目標を達成している。

(課題となる項目)

- 医科大学の学生の府内就職率は、医学科が 62.1%（計画：67%以上）となっており、計画の数値目標を達成できていない。
- 病床利用率において、附属病院では 83.4%（計画：85.5%以上）、北部医療センターでは 79.4%（計画：80.0%以上）となっており、計画の数値目標を達成できていない。
- また、数値目標について、次期中期計画の策定にあたっては達成すべき目標、目指すべき成果に照らして的確な数値となるよう、設定の根拠を明確にした上で見直しを行うことが必要である。

2 業務運営の改善等に関する事項

- 平成 28 年度計画については、「小項目評価」において、10 項目中 9 項目が「Ⅲ」（年度計画を十分に実施している）の評価結果となり、その割合が 9 割以上（90.0%）となっているため、「大項目評価」としては、「B」評価であり、平成 28 年度計画が概ね順調に進んでいると認められる。

大項目評価		B	概ね順調に進んでいる。			
小項目評価	評 価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	0	9	1	0	10
	構成比(%)	(0.0)	(90.0)	(10.0)	(0.0)	(100.0)

(評価できる項目)

- 府立大学では、女性教員の採用・登用促進のためのアクションプランを学部ごとに策定するとともに、両立支援のための研究支援員の配置を行うなど女性が活躍できる職場づくりや意識改革の取組を実施している。

(課題となる項目)

- 医科大学において、障害者法定雇用率を達成しておらず、早期に障害者法定雇用率を達成できるよう取り組む必要がある。

3 財務内容の改善に関する事項

- 平成28年度計画については、「小項目評価」において、5項目中5項目全てが「Ⅲ」（年度計画を十分に実施している）の評価結果となり、「大項目評価」としては、「A」評価であり、平成28年度計画が順調に進んでいると認められる。

大項目評価		A	順調に進んでいる。			
小項目評価	評価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	I	計
	項目数	0	5	0	0	5
	構成比(%)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

(評価できる項目)

- 研究の科学研究費等の外部資金を獲得するため、両大学では、外部資金申請を全教員が1件以上行い、数値目標（数値目標：各教員1件以上）を達成している。

4 教育研究及び組織運営の状況の自己点検・評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項

- 平成28年度計画については、「小項目評価」において、2項目中2項目すべてが「Ⅲ」（年度計画を十分に実施している）の評価結果となり、「大項目評価」としては「A」評価であり、平成28年度計画が順調に進んでいると認められる。

大項目評価		A	順調に進んでいる。			
小項目評価	評価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	I	計
	項目数	0	2	0	0	2
	構成比(%)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

(評価できる項目)

- 医科大学附属病院では、病院機能評価について平成 28 年 7 月付けで承認を受けるとともに、府立大学では、(独) 大学評価・学位授与機構の認証評価において、「大学評価基準を満たしている」との認定を受けている。

5 その他運営に関する重要事項

- 平成 28 年度計画については、「小項目評価」において、16 項目中 15 項目が「Ⅲ」(年度計画を十分に実施している) の評価結果となり、その割合が 9 割以上 (93.8%) となっているため、「大項目評価」としては、「B」評価であり、平成 28 年度計画が概ね順調に進んでいると認められる。

大項目評価		B		概ね順調に進んでいる。		
小項目評価	評 価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	0	15	1	0	16
	構成比(%)	(0.0)	(93.8)	(6.2)	(0.0)	(100.0)

(評価できる項目)

- 医科大学及び府立大学においては地元消防署と連携し、防災訓練や防火講習会などを実施するとともに、附属病院及び北部医療センターでは、DMAT 養成研修等に参加するなど、災害発生時や緊急時の対応力向上に努めている。
- 医科大学では、電子カルテシステムの利用者に対して、セキュリティ対策を含むシステムの操作研修を実施するとともに、府立大学では、教職員や学生に対して、セキュリティ情報や対策の周知や情報セキュリティ研修を開催するなど、情報セキュリティ対策の強化に務めている。

(課題となる項目)

- 医科大学附属病院における虚偽有印公文書作成・同行使容疑で家宅捜索を受けるといった事案や、医科大学看護学科における一般選抜入試の追加合格者決定に係る事務手続きにミスがあったことについて、公表及び文部科学省への報告を行っていなかった事案が発生しており、今後、適正な大学運営が行われるよう取組の充実・強化を求める。